



国勢調査がはじまりました



はいたい。9月になりました。気温30度を超える「真夏日」もまだ続いています。朝晩は涼しい風も感じられ過ごしやすい時季となりました。

さて、今年は5年に一度の「国勢調査」が実施されます。

「国勢調査」は統計法の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査で、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

大正9年(1920年)に第1回調査が実施され、今回の調査は21回目にあたり、実施100年の節目を迎えます。

令和2年国勢調査の概要は次のとおりです。

令和2年国勢調査の概要

調査期日	令和2年(2020年)10月1日(木)午前零時現在
調査対象	令和2年(2020年)10月1日現在、我が国に常住するすべての人(回答義務有り) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員等及び外国軍隊の軍人・軍属並びにこれらの家族を除く
調査項目	<世帯員に関する事項> 男女の別、出生の年月、就業状態 など <世帯に関する事項> 世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方 など
調査の流れ	総務省 → 都道府県 → 市区町村 → 指導員 → 調査員 → 世帯
調査の方法	調査員が全世帯を訪問し、面接の上で調査票等の調査書類一式を配布 調査票の回収は オンライン(インターネット回答)、郵送、調査員

※令和2年国勢調査オンライン回答について、WEBサイトでご覧になれます。⇒<https://www.e-kokusei.go.jp/html/portal/ja/top.html>

さて、今回は調査開始から100年目を迎える「令和2年国勢調査」にちなんで、第1回国勢調査時(1920年(大正9年))といまの人口、世帯数などの状況について沖縄と全国を比較してみました(表1)。



表1 沖縄と全国のすがた

	沖 縄		全 国		沖 縄		全 国	
人口	571,572人		5596万人		1,433,566人		1億2709万人	
世帯数	119,763世帯		1122万世帯		560,424世帯		5345万世帯	
平均 寿命	男	女	男	女	男	女	男	女
	72.15歳	78.96歳	71.79歳	77.01歳	80.27歳	87.44歳	80.77歳	87.01歳
※平均寿命は1975年(昭和50年)								

資料: 総務省統計局「調査結果からわかること明日への統計2020」より、県統計課「長期時系列統計データ 国勢調査」より、厚生労働省「平成27年都道府県別生命表の概況」

まず、「人口」について見てみると、2015年の沖縄の人口は、100年前より約2.5倍増加しており、全国の人口も約2.3倍増えています。

「世帯数」についても、沖縄は約4.7倍、全国は約4.8倍増加していることが分かります。

次に「平均寿命」については、厚生労働省「平成27年都道府県別生命表の概況」により「1975年」と「2015年」の状況について比較しました。

2015年の沖縄の平均寿命は、1975年に比べ男女とも約1.11倍の伸びとなっています。一方、全国の平均寿命でも、男女とも約1.13倍の伸びとなっています。

令和2年国勢調査は、インターネットによる回答がすでにはじまっており、9月14日(月)から10月7日(水)までの間、インターネットによる回答が可能となっています。

かんたん便利なインターネットでの回答にご協力よろしくお願ひします。